

窒素酸化物汚染調査結果

【大気・地球環境室】

窒素酸化物の汚染実態把握のため、鳥取市、倉吉市、米子市の沿道（8地点）についてNO_x簡易サンプラーを用いて窒素酸化物濃度の測定を実施した。（外部委託）
この結果、測定地点の全てがNO₂の大気環境基準の

下限値（日平均値40ppb）以下であった。

また、二酸化窒素の経月変化では、各地点とも夏季に低く冬季から春季に高くなる傾向が見られた。

表 窒素酸化物測定結果

（単位：ppb）

測定地点		項目	窒素酸化物 (NO ₂ +NO)	二酸化窒素 (NO ₂)	一酸化窒素 (NO)
鳥取市	国道29号徳吉跨線橋南		18～61	12～22	6～45
	国道9号線湖山西		45～87	15～30	21～58
	国道53号線田園町4丁目交差点		19～45	12～22	7～23
倉吉市	倉吉福本線東町		16～41	8～21	4～23
	倉吉青谷線上井1丁目交差点		25～58	17～27	8～32
米子市	国道181号線博労町交差点		30～63	16～28	14～35
	国道9号線東福原1丁目交差点		58～92	23～39	34～59
	米子境港線旗ヶ崎		40～78	19～33	20～47

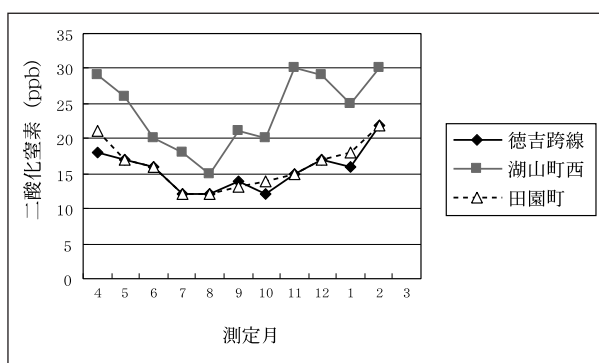


図1 地点別二酸化窒素の経月変化 鳥取市

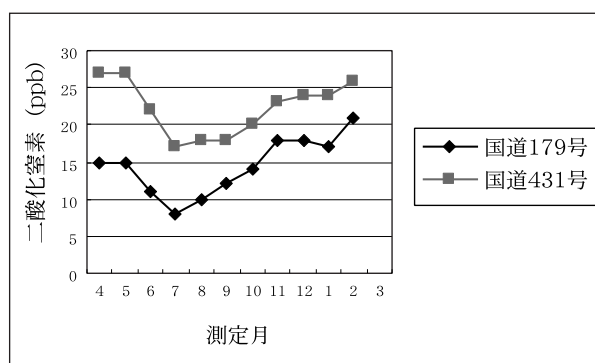


図2 地点別二酸化窒素の経月変化 倉吉市

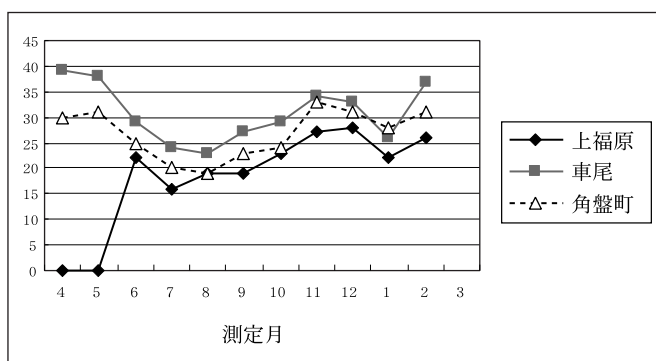


図3 地点別二酸化窒素の経月変化 米子市